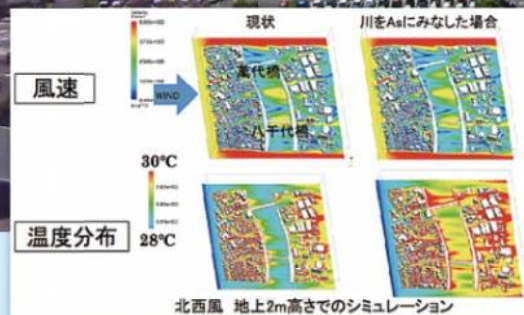


信濃川を活かした 環境まちづくり

水辺劇場都市にいがたフォーラム Part 1

開催の様子【概要】

まちの体温や気象情報など、これまであまり注目されなかった新たな視点に着目したまちづくりについて考えてみませんか。連続フォーラムの第1回目として、これまでの研究成果（中間）等を紹介し、信濃川を活かしたまちづくりについて議論を深めます。



日時

10月19日(土)

14:00～16:30 (受付: 13:30～)

会場

メディアシップ2F
日報ホールB

公共交通機関をご利用のうえお越し下さい。

内容

活動報告

調査: 「街の体温測定」「都市温熱環境シミュレーション」
出展: 「まちの活性化・都市デザイン競技」

パネルディスカッション

「信濃川を活かした環境まちづくり」
～自然・人・暮らしをつなぐ～

参加費
定員

無料

50名

申込人数が定員に達した場合は、締め切らせていただく場合がありますので、お早めにお申し込み下さい。

[開催日時] 平成 25 年 10 月 19 日 (土) 14:00～16:40

1. 参加者数

40名

2. プログラム内容

(1) あいさつ・開催の趣旨説明 14:00～14:20

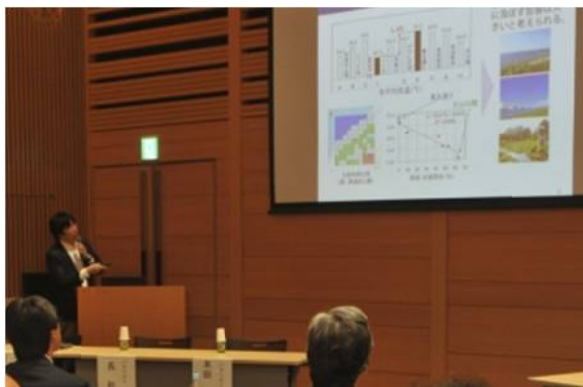
NPO法人地域インフラ研究会の高橋理事長から、本日の内容、地域インフラ研究会の活動内容、温熱環境に関する取組背景と結果の一部紹介、今後の予定等について報告した。



(2) 活動報告 14:20～15:00

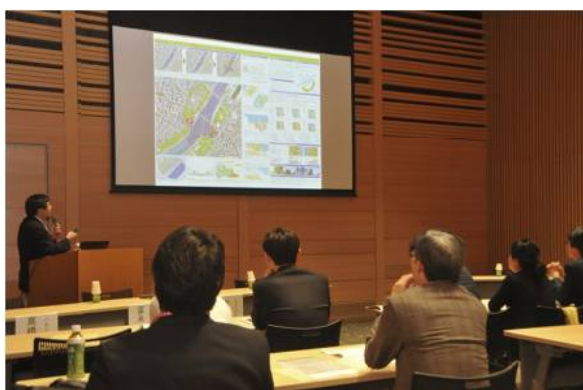
①地域インフラ研究会と新潟工科大学との共同調査の概要

新潟工科大学の富永教授から、平成 20 年から取り組んでいる実測調査の内容とその結果を踏まえて実施したシミュレーションの結果について報告された。また、引き続き、富永研究室の永井君から、今年 8 月 8 日に実施した調査結果とその結果を踏まえた解析結果について報告された。



②第 14 回 2011「まちの活性化・都市デザイン競技」出展作品

NPO法人地域インフラ研究会の上山理事から、新潟市長賞を受賞した地域インフラ研究会の出展作品について報告した。



(3) パネルディスカッション 15:10~16:40

【パネリスト】

富永禎秀 氏（新潟工科大学）、長 聡子 氏（新潟工科大学）、
本田明治 氏（新潟大学）、高橋邦夫 氏（地域インフラ研究会）の計4名

【コーディネーター】

鈴木聖二 氏（新潟日報社）

休憩を挟んで、「信濃川を活かした環境まちづくり ～自然・人・暮らしをつなぐ～」と題して、新潟の気象・気候の特徴、河川空間を活かした活性化の取組、ドイツでの気候を活かした街づくりなどの話題提供を通じながら、「水辺劇場都市にいがた」としての展開方法などについて意見交換した。



本田先生による話題提供の様子



長先生による話題提供の様子



会場からの質疑応答等の様子



なお、会場の受付脇には第 14 回 2011「まちの活性化・都市デザイン競技」で受賞した 7 作品を展示した。

